

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
桜小 6月30日	1 この地区には直接関係のないことだが、潮見台小学校に統合されるという前提のもとで、プラン1とプラン2の潮見台小学校の児童数はどのようになるのか。	プラン1の方だと、27年度時点の推計で436人、学級数では13学級になる。これが全部黄色の方の大きな部分。両サイドのグリーンの部分を取り取ったところでは276人、11学級規模になる。160人くらいがグリーンのところにいることになる。
	2 潮見台小学校的には、プラン1の方がにぎやかで良いかもしれない、ということになるのだと思うが、桜町中学校のことを考えるとプラン2の方がPTAで、若竹から来る方がどうせ桜小学校の方でやるのだらうと、どうしてもそういう雰囲気になりがちなので、プラン2の方が中学校的には良いと思う。	今後の議論になるところだが、今の意見は大変貴重だと思う。今回は41校の小中学校全部のプランでお示しをしている。これはどこの地区でも出てくる問題だが、一つ特徴的な例で、青園中学校は五つの小学校の校区から子どもが来ている。小学校から中学校へ行くときのいわゆる「中1ギャップ」と言われていて、これは小樽だけではなくて全道的、全国的に議論されている。そういうことを解消していくために何が必要かという、基本的には小学校と中学校の連携。お互いに普段からやりとりをしていく。そうすると今の青園の例で言えば、五つの小学校から子どもを受け入れるというのは大変なことだ。だから、私どもが1学年2学級にしていきたいといっているが、先程のプラン1では436人で13学級、プラン2では潮見台を統合校とすると11学級、12学級にはちょっと届かない。27年度推計なので統合した時からすぐというわけではないが、小学校と中学校の連携という部分からすると、プラン2の優位性もあると思う。もちろん通学距離の問題もあるが、この部分も含めてプラン2というものを考えていきたい。どこのブロックでもこのような考え方で作っている。だから、言われるように小学校から中学校への流れをきちんとして、小樽はこういう地形なのでそういかないところは出てくると思うが、そのような考えの中で小中学校の校区の再編をしていきたいと思う。豊倉小も同じだ、距離的には望洋台の方が近いが、中学校は朝里に行っているからどうするかという議論。

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>桜小</p>	<p>3</p> <p>先日、桜町中学校の懇談会にも出席したが、地図を見て立地条件や施設の面から考えて、この中からどの学校を選ぼうかと考えた時に、今の場所である、朝里小学校、朝里中学校、望洋台小学校、望洋台中学校、桜小学校、この五つを立地条件と施設面で使用するべきではないかと思う。それは、小学校は小学校に、中学校を中学校に使うかは別として選ぶと良いのではないかと思う。園長先生には申し訳ないが、桜町中学校は学校としては不適切ではないか。私も、桜町中学校が近いから、100mくらい離れたところに家を建てたが不適切ではないかと思う。望洋台小学校、望洋台中学校の面積その他は、十分すぎるくらいのものであるので、ぜひここを使ってもらいたい。それに関連すると、桜町中学校の校区を前提にプランが出ているようだが、桜町中学校が変わると、小学校のプランだが、中学校と一緒に考えるべきではないかと思う。そうなれば、桜町中学校の場所が望洋台小学校に移った場合、校区が変わるのではないか。それであれば、若竹小学校は、(桜町中学校に替り)望洋台小学校が中学校になってしまうのであれば、距離が離れてしまうので、校区から外れるのではないか。私が考えるには、できれば、後期の部分でもあるし、色々なことが複雑に絡むのであれば、若竹小学校は今の地区の状態を考えていただいて(朝里地区と)、分けてしまった方が良いのではないか。私は札幌出身なので、スパッとものが言えるということもあるが、愛着がないと言えばそうだが、子どもの様子を見て、親なりに判断したことだが、そのように割り切っていくほうが、施設のにも、校区的にも、通学的的にも良いのではないかと思う。考えれば考える程、複雑になるが、私の今の子どもたちの様子を見た場合、このようにしたほうが良いのではないかというのが実感だ。</p>	<p>今の副会長さんのご意見は、桜町中学校の懇談の時にもいただいて、興味深い発想だと思う。実は私も桜町中学校の卒業生なのであのグラウンドがどういう状態かは知っている。ご存知だと思うが、今桜町中学校の耐震診断が終わり、実施設計にかかっている。実施設計をやるということは当然、耐震補強工事をやることになる。その意味からすると、桜町中学校はもうしばらく中学校として使うことになる。耐震補強工事をしなくてもなくなるということは当然ならぬので。</p> <p>中学校との再編プランの関わりが出てくるが、この3校の中学校を2校にするというのが基本的なプランだ。2校にする場合、どこにするかというのはここには書いていない。今現在、3校ともそここの規模がある。朝里が一番大きく、その次に桜町、そして望洋台。ただ3校を2校にする場合、2校はどこが適切かというのはもう少し、文字どおり将来的にもう少し先の子どもの数を見てから判断しようと、ある意味宿題にさせてもらっている。ご承知のとおり、望洋台の宅地造成が始まって、1工区、2工区と家が張り付いて学校が必要になった。色々な時代背景があって住宅建設も一定程度進んでいるが、1工区、2工区のようなスピードでは全くないし、計画全体としては、3工区、4工区まであり、全体の都市計画から見極めなければならぬと思っている。</p> <p>それから今副会長さんが言われた桜町中学校が難しいのは、今の校舎は細長く建っていて、市道を1本挟んでグラウンドがある。普通、校舎の建て替えをするときは、どこでも、グラウンドに新しい校舎を建てて、それで子どもを移してから校舎を解体してグラウンドに整地するというやり方でいっていき、桜町中学校で考えると、今のグラウンドに校舎を建てるとすると、あの細長い土地はグラウンドにならない、土地が傾斜地でそこに建物を建てているので、ここについては、もう少し先の議論になると思う。資料の施設の概要にも桜町のグラウンドは3,700㎡、望洋台小学校のグラウンドは11,000㎡、やはり中学校のグラウンドとしては7,000～8,000㎡はほしいという希望はある。一番新しい中学校で菁園は、3,000㎡しかないというのは苦しいところだ。どうしても中心部にある学校は狭くならざるを得ない。ただこのような再編やそういうことを考えていくときには当然校舎が古い新しいということだけではなく、グラウンドや校舎が高いところにあるという立地も含めていかなければならぬだろうと思っている。答えになっていないかもしれないが、このような懇談会で出された意見として記録させていただく。</p>
	<p>4</p> <p>いずれにしても、桜小学校的には、あまり憂い悩む必要はないのか、というふうに聞かせていただいている。今、副会長が言われたことは、ごもつとどとと思う。来年から桜町中学校が耐震補強の工事に入るので、これはもうなくなるのだな。と、勝手に安堵していたが、そうでもないのかなという感じた。</p> <p>本題とずれるかもしれないが、今、校地が市道を挟んでという話があったが、私も桜町中学校のOBで、僕らが通っていた頃は、前の坂にも家が一軒もなくそんなに車の通行量も激しくなく、のどかな中学校だった。最近では、周りには本当に家が建ち、車も市道をスピード出して走っている。非常に危ない所だと思っっているし、事故になりかけたということも聞いているので、もし残るのであれば、スクールゾーンにさせていただきたいと思う。もし残るのであれば。</p>	<p>繰り返しになるが、あの立地は、今すぐ見直すといわれて場所をどこにしたら良いかというものは持ちきれないが、やはり後期の中で考えていかなければならないと思っている。ご理解いただきたいのは、現状では、桜が9クラス、望洋台が6クラス、朝里が12クラスとそれぞれ、そこそこの規模を持っており、今すぐ桜町中学校の子どもたちをどこかに移すといっても、どうしようもない部分がある。この再編プランの後期の部分では真剣に検討していかなければならない。</p> <p>桜町中学校を耐震補強する時も市の内部でも色々議論があった。あのような建て方なので、耐震補強にもお金が掛かる。それでは、後期の10年先まで待てるかというやはりそうはいかない。それはそれでしなければいけない。学校の安全、安心ということ、再編という形にはならないという中で、耐震補強はやっていこうという一つの判断をしたということにご理解をいただきたい。あとで担当課長から耐震補強工事がどのようになるのか少し話をさせていただきたいと思う。これから中学校に子どもを通わせる保護者さんもいると思うので。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
桜小		<p>耐震補強工事にも色々あって、桜小学校の場合は、外から付ける形になる。鉄のプレスではなく、コンクリートの枠になるが、他の小学校でもやっているのは外にプレスをつける形だが、桜町中学校は、構造上柱が中側に少し入っているため、教室の中にプレスをつけなければならない。だから、普通教室は、8m×8mだが、どうしても狭くなって、不自由をかける部分もある。それで中をいじるのと、空き教室がたくさんあるわけでもないで、プレハブ教室を作って、一時出してもらって、学校につけて作りたいとは思っているが、とても1年ではできない。1年でやるとしたらグラウンドに全教室分のプレハブ校舎を建てなければならない、そういうわけにもいかないで、2年に分けてやりたいということで市の建築とも相談をして実施設計の段階に入っている。中の部分をかなりいじる形になるので非常に不便をかけるが、工法が決まったら、PTAの方にも説明はしたいと思っている。今、桜小学校とは違う形になってしまうのが、桜町中学校の耐震補強の状況だ。中は少し狭くなってしまい、床や壁などもいじっていかなければならない。工期が夏休みだけというわけにもいかないし、中を一度移動してもらわないとならない状況だ。まだその程度の段階だが、設計業者に出しているところで、なるべく不自由をかけないようにしたいと思っているが、最低それくらいはかかるという状況。</p>
5	<p>先程の説明の中に、青いリーフレットに「仮に統合が決まった後のスケジュールはどうなりますか。」と書いてありその矢印の先に（仮称）学校統合協議会というものが設置され、以下のようなことに取り組みます、という説明があった。</p> <p>仮の話で申し訳ないが、朝里地区のプラン3で動いた場合、それで統合スケジュールが決まりました、あるいは、南小樽地区で若竹小学校が朝里地区の方に動いた場合、本校においても、以下のような統合協議会、あるいは若竹小学校の方で、やはり統合するのであれば、新たな校歌や校章を制定してほしいという動きになった場合、そのようなときには、統合協議会で話されることになっていくのか。</p>	<p>今の質問と同じ質のものが、動く側の若竹小学校の懇談会の中でも出ていた。一つ図面を見ていただきたい、南樽地区のプラン1になった場合、これは三つの校区をそのまま合わせて一つの校区にしていくことになるから、新しい校名、新しい校歌、そういったものの議論というのは、自然な流れでいけると思っている。それからプラン2の方の黄色の部分、ここもそれなりに新しい校名を考えようという議論も出てくる。このサイドが、それぞれの統合校に行く場合に、その議論があるかとのことだが、若竹小学校の懇談会の時、基本的にはその統合協議の中で校名や校歌は協議の対象にはなるだろうと思う。最初から協議はしない、極端な言い方をすると、「桜小学校に来るのだから桜になりなさい」ということは、どの統合の場合でもいうべきではないと思う。やはり議論はさせていたただかなければならない、ただ濃淡は違うと思う。その議論の深さは違うと思う。</p> <p>変な言い方かもしれないが、このプラン2の若竹小学校の桜側というのは、桜町中学校に来ており、その場合に、小学校で新しい学校を作るかどうか、新しい名前にするかどうかという感情論はなくなってしまいが、その部分で濃淡は違うと思う。ただ教育委員会の立場として、受ける側、来る側となると、来る側として色々な不安などがある時に、最初からこの議論はなしですとはならない。ただ来る側の言いなりになるということではない。これはもう協議だと思う。ただ、最初から一切この議論はなしということにはならない。その辺をご理解いただきたいと思っている。</p> <p>実際に統合ということになれば、それは来るところだけが大変だということでは全然なく、統合校となる側もこれは文字どおり先生方も、保護者の皆さんも色々ご議論をいただかなくてはならない部分が出てくるということはお理解いただきたいと思う。私どもとしては、他のブロックについては、一定合意になったところから進めていくという言い方をしている。繰り返しになるが、最終決定をしたわけではないが、この南小樽地区のAグループについては病院問題がある。そういった中で、24年4月ということにご協力をいただけないかということでここ1年話をして説明会や懇談会をやってきた経過がある。そここのころは、違う意味で時間的な意味でのご理解を合わせていただきたいと思っている。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
桜小	<p>6</p> <p>今の話を聞いていて、とにかく大変だという感じはする。話はそれるか分らないが、先程言っていた、菁園中学校の場合、小学校5校から子どもが来るということで、学力差があるとか色々な学区の差があるということだと思う。話が進んできている中で受けるのは、今後経費的にどうするかということがあってこのような問題が出てきているということが大きいと思う。教育ということの根底から考えれば、孟母三遷という言葉もあるように、統合される学校の教育環境はどこが良いのかということも十分に考えて、今話が出なっただけではないだろうか。ただあえて言わせていただきたいのは、5校が集まって、差があるんだ、それが問題なんだ、ということであれば、その方向からも早急に統合ということの検討に併せて考えていかなければならないのではないかと。それから、こんなことをいうと失礼かもしれないが、聞くところによると決して全国学力調査の結果を見ると小樽はレベルが高くて1、2番を争うということでもないということであれば、統合という一つのキーが、そのような方向に大きく示されることが、また保護者についても、そういうメリットがあるので仕方がない、ということで納得できる部分があるのではないと思う。これから大人になっていくと、小樽の中の小学校、中学校、高校だけの競争ではないから、超一流の高校と小樽市出身の人がライバルとして一流企業に入る、入らない、その前に大学があるが、そのような中でやっていかなければならない。その大きなものを背負っているのは、大きな方向づけとして、その辺も十分に考えていただきたいと感じた。ちょっと違うかもしれないが、話させていただいた。</p>	<p>おっしゃることはそのとおりだと思う。ただ誤解していただきたいくないのは、菁園中学校は皆さんが自由に来ているということではなく、現状の校区そのものが五つの小学校から集まって来ている。ご承知かと思うが、確かに部活の関係、特にブラスバンドが菁園中学校の特色としてあるので、それをやりたいということで広く来ているのは事実だ。それから学力の問題だが、教育委員会も学力だけの物差しを持つわけではないが、それが大事だとは思っている。指導室や学校でも頑張っているが、我々事務屋は教え方というのはわからないが、やはり一定の教員数を揃えて、一定の教師集団を揃えてやっていくことは、絶対に必要だろうと思っている。単純に考えても1学年、私の時には7学級、8学級が当たり前だったが、1学級で2クラスあれば、担任の先生は2人いる。そうすると、小学校でも相談ができる。中学校は特に専任免許があるから国語は国語の先生に、数学は数学の先生に教えてもらいたい、というのが保護者の希望であり、先生自身も、生徒もそうだと思う。</p> <p>是非私もこの学校再編、単に学校が多いから、41校全部を建て替えるお金が大変だから、もちろん税金を使っているわけだからその部分はないわけではないが、ただやはり、広い意味での学力も含めて、子どもの教育環境を向上させていくという視点からなんとしてもやっていかなければならないと思っておおり、そういう意味で、おっしゃっていることが全然違うとは思っていないが、ご協力お願いしたいと思う。</p>
望洋台小・中 7月5日	<p>1</p> <p>18ページの◆の四つ目、「A、Bの通学区域については、小学校の再編と合わせて検討することが必要です。」と、これは至極当然のような気がするが、あえてここに載せた理由があるのか。</p> <p>もうひとつ、(中学校の再編の考え方)◆の二つ目、桜町と望洋台で、それぞれ施設面で望洋台、地区的にいうと桜町という、教育委員会の今の考え方で、「望洋台地区の年少人口の推移をみながら検討するのが望ましいと考え」とあるが、後期(計画)は30年度から36年度まで、その間での推移をみながら、どちらが優位なのか検討するという理解でよろしいか。</p>	<p>一つ目に小学校の再編と合わせて検討するのは当然ということだが、今回の学校再編に当たって、基本計画では小学校と中学校の連携ということを考えている。この地区の場合、比較的小学校と中学校の数というのは、一つの小学校から中学校へ上がるケースは多いが、豊倉小学校の関係をどうするかというのがあるので、豊倉小学校を望洋台小学校と合わせることを考えるのか、それとも、朝里小学校と合わせることを考えた場合に、その行った先でそのまま中学に上がるのが良いのか、それがまた入れ違うことにならないようにということもあるので、小学校の再編をみながら中学校との関係も整理していく必要があるとのこと記述した。</p> <p>もう一点、施設面では望洋台中学校が優位、居住分布では桜町中学校が優位としているが、この地区全体は30年度以降、後期の部分で検討していくこととしているが、ここはまだ一定の規模の学校があるので、後期計画に位置付けている。望洋台地区についても従前のように子どもさんの数が増えていくという時期ではなく、もう望洋台地区についても残念ながら減少していくことが一定程度見込まれると思う。ただ、まだ開発しているところもあるので、そこにどのように住宅が建って、そこに人が張り付くかということもあるので、現時点ではそこを見極めながら、この先7～8年後の議論と、この地区ではなるが、そこをみながらやっていく必要があるということでここに記載した。他の地区であれば、このような学校が適切だと書いているが、朝里地区の望洋台中と桜町中の関係では、人口推移の動向をみなければ、今の時点でどういう方向性を出すか書けないので、そのような表現とさせていただいた。</p>

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
望洋台小・中	<p>2 小学校の方についていえば、私が見ても、望洋台、朝里地区は中心部と違ってそれほどモザイク状に小学校があるわけではないので、地域的なことを考えると、小学校についてはこうならざるを得ないという気がする。しかし、問題は地域性というか、豊倉の皆さんの小学校に対する思い入れだ。これをどう受け止めて、豊倉の場合、これをどうやっていくのか、というのがやはり焦点なのかという気がする。その辺りは、やらざるを得ないとなれば、そこの辺りが焦点となるので、その部分はしっかりやっていただきたいと思う。</p> <p>中学校についても、こういうプランにならざるを得ないと思う。人口の推移をみなければならないとあるが、推移をみた結果、私も当然現状では人口が増えるとは思わないし、年少人口も増えるわけではないので、後期になった時に、地理的な面から桜町となった時に、その施設を、グラウンドからしても3分の1程度の中で、まっとうな教育活動が今の施設の中でできるのかということを見ると、桜町に移すとどうなるのか、施設面でどうするのかというのを、なってからではなくて、それも今から考えていかなければならないと思う。</p>	<p>私どもの考え方も、実は今、発言いただいた内容、それに尽きる。冊子の3ページをご覧いただきたい、一目瞭然で、21年度現在、この地区の4校のうち、桜、望洋台、朝里はどれも12学級以上、1学年2学級以上を確保している。豊倉小学校だけが極めて少ない、小さな学校。去年は26人だったが、今年20人の学校になっている。地区全体としては、後期なので、平成30年度以降の議論ということにしているが、実は、先日豊倉小学校の懇談会で、町会役員の方からは、小さくても地域とのつながりの強い学校だから、このまま残しておいてほしいというご意見をいただいた。豊倉小はあと3年、平成25年に100周年を迎える学校。</p> <p>もう一つ、保護者の方からいただいたご意見は、ある学年は男の子が3人しかいない、3人の学年。少ないということでの緊密さやつながりの強さはあるが、何か問題とまではいかないが、何か課題が出てくると、中々ゆるくない面が出てくる。もう一つは、20人の小学校から、市内で一番大きな380人の朝里中学校へ行くと、格差というか、人数の部分でどうしても馴染めないという課題を持っている。地域の方々の意見もあるが、今の親御さんからは、豊倉の現状がこの先も同じように推移していくのであれば、後期ということに限らず少し議論をさせてもらえないだろうかという発言もあった。それぞれブロックごとに前期、後期という分け方をしているが、地域事情や個別の事情の中では、前期という中で行うことも考えていかなければならないと思っている。</p> <p>その場合、豊倉小学校は現状では中学校は朝里中学校へ行くが、小学校はここ望洋台小が近い、先ほど担当が申し上げたが、小学校の組み合わせは、朝里と豊倉というパターン、望洋台と豊倉というパターンの中で中学校も考えていかなければならないと思っている。場合によっては、ここは後期だが、前期の段階でここと豊倉小学校との事前協議や交流とかもあり得るということ、望洋台小学校の保護者の方々にも頭に置いておいていただきたいと思う。</p> <p>中学校の件、望洋台中学校は昨年6学級だったが、今年は1年生が道の研究事業の関係で1学級増えて、7学級。今日示しているのは27年度推計で、中学生の場合は小学生より長く将来推計が可能で、平成32年には望洋台中学校もこのままでいくと4学級の学校になってしまう。もちろんこれは、今お住まいの方が動かないという前提のもの。以前ほどのスピードはないが、今でも住宅が建っているんで、増える可能性はあるが、現実的には、そういう状況も一方ではある。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
望洋台小・中		<p>桜町中学校はお話いただいたとおり。桜町中学校は、校舎とグラウンドの間に市道が1本走っていて、交通量も多くなっている。グラウンドも大変狭い状況にある。桜町中学校は古い校舎もあるので、中学校の施設としては、この地区の統合校の一つとしては相当考えにくい面があると思っている。一方、望洋台中学校はグラウンドが11,000㎡と市内の中学校でも一番大きいので、施設面、特に中学校の部活等を考えると桜町中の3,700㎡では本当に狭いと思っている。今の段階で、私どもとしては結論は出せない。先日この地区の懇談会で一つの提案としていただいたが、望洋台小学校を中学校に、将来の人口がどうなるか分からないが、桜小学校に小学校を集約して、望洋台小学校を中学校にしてはどうかと言われた方もいる。施設状況を見るとそういったことも先には考えていかなければならないとの提言をされた方もいる。私どもも、その会場で出たご意見ということで承らせていただくと申し上げた。</p> <p>この地区、新光、朝里、望洋台という市内でも若い町ですので、今後どのようになるのか、文字通り見極めなければならない。その意味では、先ほど言われた後期の部分、平成30年段階で子どもさんの居住分布がどのようになっているのか、その段階での将来推計はどのようになっているのか、そこを見極めてこのような協議、相談をさせていただかなければならないと思っている</p> <p>ただ、豊倉小学校については、前段での議論が必要な要素もあると考えている。</p> <p>今、お話しがあった小学校については、豊倉小学校の懇談会の様子もお話しをしたが、必ず後期という設定、朝里地区ブロックは後期と位置付けているが、話し合いの進み具合によっては前倒しのような形もあるというお話しをした。中学校については、先ほどお話ししたとおり、もう少し人口推移などをみながらということがあると思うが、これについては引き続き検討していかなければならないと考えている。</p>

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>豊倉小 6月21日</p>	<p>今、説明があったが、四つのパターンの中から一つ選べというふうにしかなれないのだが。私どもは、前々から小規模校の中でも、豊倉小学校は複式だが、新聞報道、学校の体験発表や研究会などで複式学級の良さが大変評価されている、全国的にも色々な賞をとって、全国的な記事になっている。そういった観点から、たとえ人数が少なくても、複式学級の良さはあることは、これまでの豊倉小学校を存続させたいといった観点から、第一回の案が出た時に、新聞報道によると複式学級は教育上困難なので解消したいという記事が道新に出た。これは大変だということで、私ども守る会を作って検討して、豊倉小学校を存続させたいということで署名も作って、運動を行ってきた。複式学級、小規模校を、4パターンのほかに複式・小規模学級の特殊な学級の配慮はどのようにされるのか。また、今まで私たちが、守る会で取り組んできた運動などをどのように評価されているのかというのが一点目。</p> <p>まだ、守る会の署名運動は続いており、70名ほど集めてきたが、地域の方の要望は豊倉小学校をぜひ残していただきたい。温泉町内会地域から豊倉小学校がなくなったら町の灯が消えたようなものだという声もある。</p> <p>私は学校評議員をやっているが、平成20年の第2回豊倉小学校学校評議員会資料があるが、その中に本校の教育活動「広く外部に開き、信頼される、開かれた学校づくりに努める」ということで、学校評議員と職員の方でそれぞれ評価をしている。評価の観点があって、学校の教育活動を広く地域に開き、理解、助力を得る、これはBランクで、評議員、職員ともに100%。2として、学校に対し、外からの声を聞き、双方向の開かれた学校づくりを目指す。これも100%。</p> <p>3PTA、学校評議員会、町内会などと連携し、安全管理を含めた教育体制を作る。これもBランク。そして、まとめの中で、本校の教育活動「広く外部に開き、信頼される、学校づくりに努める」取組については、一定の評価があった。これは、学校行事やPTA活動など様々な行事を通じ、学校と地域が協力して、子どもをより良く育てようと努力していることが大きな要因であると考え。その意味で、今後も双方のこれまでの努力を継続し、学校、家庭、地域が連携を密にし、取組を決めていきたい。これは、豊倉小学校の第2回評議員会の地域と学校の取組です。まさに素晴らしい実践をされている学校です。そのほか、地域での餅つき大会とか、七夕祭りの行灯行列、朝里が丘祭りなど色々あるが、地域と連携して、子どもをわが子のように思い、まちづくり、学校づくりということで、地域も頑張っている中で、4パターンの中から一つを選ぶという形に取らざるを得ないが、このような優れた実践の豊倉小学校は意義があるということで、考慮されて、その点についての何かのコメントもあって良いのかなと思う。以上2点をお願いします。どのように評価し、どのように取り組まれてきたのか、陳情書も出しているの、その辺も含めてお願いします。</p>	<p>2点ということでお話いただいた。私の聞き取りが不十分かもしれないが最初の部分と2点目が同じように聞こえてしまうが、要するに包括的にお話をさせていただいたということによろしいか。最初の方で言った部分の複式学級の良さがあるというお話があって、途中で小規模校となっているが、今回は去年の11月に基本計画を策定しており、その中では複式学級についてどのようにしていくか、あるいは、複式であるがゆえに統合の対象とするというようなことでは位置付けていない。確かに数年前の議論の中では複式学級の教育活動の困難性について議論してはいたが、基本的には現在、小規模な学校ということで12学級に満たない学校という形での基本計画での整理をしている。複式学級だけを特出して学校再編の中で何か特別な観点を加えるという作りにはしていないので、それだけ私の方からお話をする。</p> <p>それと陳情の部分だが、陳情は小樽市議会の方に提出されていて、PTA会長から陳情の主旨についても市議会の席でお話をされていて、私どももその委員会に出席していたので、経過については承知している。ただ、それについては市議会の方で引き続き審議をさせていただいていると認識している。</p> <p>教育活動について豊倉の様子を見てきているのでお話ししたい。この学校では表現力について5年も6年も、もっと前からこの体育館で、当時は子どもの数は今と違ってもっと多かった時、堂々と胸を張って子どもたちが自分たちの調べたことについて発表する姿、それは他ではまねできない素晴らしさがあった。例えば、私たちは大人でも子どもでもしゃべる時自分の思いが全部伝わらないと困るので紙に書いてしゃべるものだが、当時、今もそうだと思うが、皆原稿を持たずにしゃべっている姿は素晴らしいと思って見ていた。また生物関係では、この校舎周辺の色々な自然を博物館の職員と一緒に昆虫の調査。またボランティア活動では高い評価を受けている。総合的な学習の時間の発表会では子どもたちは常連で大きな学校の子どもたちに負けないくらい一生懸命やっている姿をととも評価している。今、私どもで心配しているのは小さい学校で先生方と子ども、保護者が一体となって一生懸命やっているが、大きな学校へ行ったら、子どもたちの活動はどのようになるのか追跡はしていないが、やはりこの良さは認める、評価はしているが、その子どもたちがこれから学年が段々上がっていった時、この学校の良さを発揮してもらえるかどうかは、私も見ていないので、少し心配をしている。ただ、今の状態は少人数中で、先生、子ども、保護者、地域が一体となって素晴らしい教育活動を行っているというのは分かっている。しか、このままだと、段々子どもが減っていくと、少ない中で一生懸命やっているが、子どもの不安も多くなるという危惧は、私指導者としてはそう思っている。冒頭申したように活動は十分認めている。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
豊倉小	<p>2 四つのパターンが示されました。その他に私小規模校のことを言ったが、複式学級を持つ小さな学校の、今の四つのパターンの他に再編を考えられるということか。。そのほかに考慮する余地があるというように聞かされた。違うのか。</p>	<p>この地区、あるいは豊倉小学校という個別の対象だけではなく、今回の再編全体についてお話をさせていただく。昨年6月29日にここで基本計画素案の説明会をさせていただいた。ここ豊倉小学校も平成5、6年では確か5、60人の子どもさんがいたと思うが、今現在20人。この先もそのような数字で推移をしていく。これはもう小樽市内の大きな学校、この近くの朝里小学校でも、あと7、8年すると、100とか150という単位で少なくなっていく。これはどこの学校もそうだ。そういった中で小さいままというわけにはいかないだろうと、やはり再編をしていかなければならないというのが、まず一つの考え方。それで再編するに当たっては、一定程度、地区ごとの特徴というものがあるからブロックに分けて考えていかなければならない。それで6ブロックに分けて考えた。そこで、この朝里地区でいうと、平成27年度の状況を見ると一つの学校で1学年2学級、12学級の学校を作っていきたいという考え方を持っているので、この朝里、桜地区では三つの小学校が必要になる。そうした場合に今四つあるが、三つにするには、どこの場所が一番適切なのかとの資料として、今回これを出している。だから、豊倉小学校をなくそう、どこの学校をなくそうとか、出発点はそういうことではない。ただ、現実として、先程担当からお話した資料の15ページのところに結論的に、桜小学校、望洋台小学校、朝里小学校の3校とすることが適切と考えていると書いている。豊倉小学校は書いていない。それは、先程の図面でも説明をさせていただいたが、通学距離の関係、校地面積、全体の敷地の面積などから、なかなかここを統合校として想定することは現状では難しいということで、適切だという言い方をさせていただいている。だからといって、決めたということではなく、あくまでもこれは、1ページ目にも書いているが、皆さんから色々なご意見をいただくためのたたき台ということで今日お出しをしているということが基本。豊倉を3校のうちの1校として残す方法はないのか、そういう議論があっても全然構わないと思う。ただ、この先も4校の小学校を全部残してくれという議論になると、ちょっとそれは長いスパンで考えていった場合にそうはならなくなってしまう。逆にいうと、小樽の27校を全部残していくことはできない。そういう視点で議論をしていただきたいと思います。</p> <p>私は去年のこの説明会で、今日も会長さんがこられているが、会長さんの発言の中で、会長さんは守る会の代表者でもあって、PTAの会長でもある。地域の人間としてはこの学校を残してほしいという気持ちはある、ただ去年の話だが、今年の新入生は3人でみんな男の子だったと、そういうことを見るとやはりこの先もずっと、新一年生が年によって6人いたり、2人になったりというばらつきはあるものの、平均すると大体20数人ということで推移をしていく。その中では毎年一年生を迎えるときに2人や3人という場合、全部女の子というパターンもできるし、男の子と女の子1人ずつというパターンもできる。ずっとそういう教育環境のままで良いのかということで、会長さんが言われた部分というのはすごく印象に残っている。だからある意味、ここは前段でも触れているが、来年にしようとか再来年にしようとかいうわけではないが、やはり今後どうしていくのか、どういう学校のあり方が良いのかということも含めてご意見をいただければと思っている。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
豊倉小	<p>今、2年生は男の子3人。男の子だけなのでまだ遊ぶ相手がいるが、でも3人です。ですから、ちょっと喧嘩があっても、でも3人しかいないという状態。学校的には、やっていること、学習内容に関しても豊倉小学校は素晴らしいと思っているが、逆に人間関係の面では、今現在でもちょっと厳しいのではないかと思っている。上の子はある程度誰とでも仲良くできる子だが、下の子は人見知りであったり、新しい環境に慣れるのに時間がかかる子なので、そういう子たちが新しく入って、1クラス2人しかいない、3人しかいないという中に入ってくる。先ほどお話のあった中学校に入った時に、朝里中学校の100人くらいの子どもたちの中に、たった2～3人だけが入っていくのに、入っていけるのだろうかというのが親としてとても心配。守る会、地域の方が言ってくれていることはすごく分かるし、この学校を否定するつもりはまったくないし、大好きだけれども、ちょっと今の状態は子どもの負担があると。親も正直、出来る限りの協力はしているが、何せ15世帯20人、なおかつ仕事を持っている方もいっぱいいるので、その中で協力できることは親もいっぱい、いっぱいの状態になっているのは確かだ。</p> <p>このブロックの再編は後期になっている。この桜、望洋台、朝里を残したいという気持ちは分かる。豊倉のこの校舎の現状を見れば、無理だろうと。では、それを後期にやるとなると、自分の子どもを考えた時に卒業するか、しないかです。それだったもって早くしてほしいという話もある。他のお母さんは分からないが、私のまわり、私は今でもいっぱい、いっぱい。子どもたちも、5、6年生が生徒会とかやっているが、生徒をまとめているのもいっぱい、いっぱいだと思う。子どもたちの負担があまりにも大きくて可哀そうだという気がするので、後期ということに関しても、本当にこのパターンでいくのであれば、もう少し考えてほしいという気持ちもある。この三つにした場合、豊倉は望洋台にしる、朝里にしる、距離が遠い。朝里小学校であれば路線バスはあるが、望洋台小学校の場合路線バスは無い。例えば望洋台小学校と統合になって、校舎が望洋台小学校となった時に、その2キロ以上の子どもたちはどういうふうに通学していけば良いのかということも、どのように検討しているのかお聞きしたい。</p>	<p>前期、後期の部分からお話をする。ご承知のとおり6ブロックのうち四つを前期、二つを後期にしている。後期はこの地区と銭函地区になっている。わりと機械的な決め方で、例えば、その地区に5校あれば、そのうち半分以上が小さな学校になっている時には急ぐので前期になり、そうではないところは後期にする。ただ、ここはそれぞれの議論の仕方だと教育委員会は考えている、というのは、前期の場合であっても、今回は小中両方のプランを作っているので、小学校、中学校とも全部前期にできるかという、なかなか難しい面もある。</p> <p>逆に中央・手山地区で言っているが、あの地区は小学校が6校ある。そうすると、小学校をまずやって、小学校の校区を一定程度整理してからでないと次の中学校に進めないという考え方で説明している。そうすると一つの考え方として出てくるのは、小学校で1回統合の経験をする。要するにA校からB校に移った子どもがいる。この後の今度、中学校に行った時、そこでまた、A校からB校に移るとい、要するに2回経験することは基本的には避けたいと考えている。だから、小学校を先行した地区の中学校は一定程度期間を持ってやらなければならないと思っている。逆に中学校を先にできれば、小学校は期間を置く必要はなくなる。銭函地区や朝里地区についても完璧にその地区の統合配置が決まるというわけではないが、部分的に、個別的に後期に含まれているところであっても、前期でやる部分については、この協議の場の中でやらなければならないと思っている。</p> <p>会長さんを目の前にして例にとりてばかりで申し訳ないが、去年ここに来た時も、会長さんはその部分も言っている。前期後期という言い方ではないが、地域の人間としては残したい20人とか一つの学年が2人、3人になっていく中では、考えていかなければならない。ただ考えていくに当たっても、やはり一定の時期、いつやるんだと目標を持って考えていかないと何となく議論が進まないのではないかと。もし違っていたら言っていたいただきたいが、確かそういう趣旨の話もされていたと思う。だから今日この場で、どのプランにしよう、時期はいつにしようなど決めようとは全然思っていないが、ご意見をいただいたが、この部分も含めて、例えばプラン1でいけば朝里、プラン2では望洋台、そういう形をやるにしても、事前に色々な準備をしなければならないと思っている。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
豊倉小	<p>4 後期になった場合、下の子が真ん中の学年くらい。そうなったときに、例えば朝里小学校と統合になってそちらに通う。中学校の時は、豊倉の校区の子は望洋台中と一緒になくなった場合には、女の子なのでそちらの方に歩いて通えとは言えない。決まってしまった場合は、希望として申請を出せば朝里中学校に行けるのか。</p>	<p>ご覧になった方もいると思うが、今日、仁木で10人規模の学校と80人規模の学校が来年統合しようということで小さい方の学校のお子さん方が毎月1回、統合校の方に行って交流をしているという新聞を見た。今決まったから来年からということではなく、一定の期間を置いて子ども同士の交流もある、PTA同士の交流もある。先生方で事前に学校ではこういう教材を使っている、教科書は同じだが違う教材を使っている場合は、前段の準備の中で統一していこうという、色々な議論があると思う。一定程度、前期、後期ということではなく、やはり一定程度の期間を持ってきちんと準備をしてやっていくというのが基本だろうと思う。</p> <p>それからバス通学の分も出ていたが、この区域の方々中学校は基本的にみんな朝里なので路線バスを利用するという形になっている。実際に在籍している方々の最遠通学距離は出した、マンションを含めて学校周辺に住んでいる方が多いと思うが、小学生であれば2キロというのが通学支援の一つの基準になっているが、地区全体としては2キロ以上離れている方もいるし、望洋台とした場合2キロより近い方もいると思う。定期という形になるのか、小学校の場合どうなのということもあるので、スクールバスを用意するという部分もあるのかそこは統合準備の中の協議の中で色々話し合いをしていかなければならないと思う。中学校は、文字どおりどういう形が良いのか協議をしなければならぬと思う。小学校なら望洋台の方が近いと思うが、今現在、中学校は朝里に行っている。今回は再編なので、小学校も望洋台にする、同じく中学校も望洋台にする、そういう選択もあると思う。ただ、ぐるっと回って行くことになる。この辺がある意味では、小学生のスクールバスという選択肢があるとすれば、朝は中学生も含めてという選択肢があるのかどうなのか。帰りは中学生の場合は部活があるので難しい部分がある。もちろん朝里中学校という選択もある。今現在の校区なので、もう一つ頭の中にあるのは、小学校と中学校の連携、1例を挙げると菁園中学校は五つの小学校からきている中学校。先生方は大変だ。その連携についても、私どもも色々な判断をするし、子どもさんの意見も当然あるだろうから保護者の方にも、子どもさんの意見を聞いてもらいながら、色々な相談をするということも必要だろうと思っている。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
豊倉小	<p>正直に言って、後期になればうちの子たちは卒業してしまう。そういう意味では関係ないと言ってしまえば関係はないことになってしましますが、ここ5年もPTA会長をしていますので。前回と違ってお母さん方の率直な意見が出た。正直、PTA会長と言うと、事務局会議とかPTA総会を開くと、お母さんたちの意見としては男の子しかいないとか、今年の新入生に関しては66%がうちの子もだというのがどうかと思う。1学年の3分の2が一家庭から出ているというのが、かなり問題だと思うので、そういうことから子どもは多い方が良いと思う。こういった再編プランが出てきてしまったことで、実際にマンションに住んでいる方でお子さんもいて、本来は豊倉小学校に通われる子どもさんが朝里小学校に通っているという家庭もあって、思った人数が豊倉小学校に入っていないということも、人数が少ない理由の一つだと思う。</p> <p>あと、頭が痛いと思うのは、小さい学校なのでとても仲の良い子どもたちが6年間一緒に過ごしてきて、市内で一番大きい朝里中学校に入って、中々クラスに馴染めなくて、学校に行けなくなってしまいうちの子も出てきているということも実際に聞くので、小学生を持つ親としては心配だ。せっかくこの学校から巣立った子どもがそのようなことになるのは悲しいことだと思う。かといって、板挟みではないが、地域の方々から見ると、この学校がとても良い活動をしていることは、さきほど教育長がおっしゃったように教育委員会の方でも評価していただいていると思うが、地域の方々にも評価していただいている。最近だと、すぐ近くの朝里ファミリアという老人ホームのような施設があって、そこから運動会をやるのであれば寄付していただいたり、その代わりではないが、夏休み期間中に子どもたちが運動会でやっているヨサコイ、見ていてとても感動するものなので、それを披露してくれないかというお話をいただくわけ。子どもの姿を見てみると、お爺ちゃん、お婆ちゃん達は元気になるのでぜひ来てほしいと、ケアハウスの方からも良く夏まつりの時に来てほしいと言われるので、この地域というのは住民、住んでいる人達以外にも、施設に入所されている方々も住人としているわけで、そういった方達はご老人で、家族がいるわけではないので、子どもたちと触れ合いたくて、そういう実情もあるものだから、そういった地域の実情もありなんとか触れ合いの機会を持たせてあげたいと、地域住民だけではなくて、そういった方々にも。今年も本当に運動会にたくさんの方々の施設の入所者の方々に来ていただいた。</p>	<p>今、PTA会長さんから会長としての心情をお話いただいた。やはり地域と学校、先程町会の方からもお話いただいたが、地域があつての学校、学校があつての地域というようにお互いに支えあう部分、特にこのような小さな規模の学校とはおのずからそういう形を取っていく、小樽市内でもそのように続いてきている学校も、特に小学校だが、あるというように思っている。ただ、再編の部分で言えば、新しく再編をすることによって、ここで培ってきたノウハウ、その地域の教育力あるいは学校の地域力、そういったものを少しでも広げていって、それがこの再編を契機に大きな輪になっていっていただければと、そういう思いも教育委員会としてはある。</p> <p>小樽市内でも例えば読み聞かせのグループが核になって隣の学校にそういった運動を広げていって、そのような取り組みもあるので、この豊倉小学校の先程言った地域との関わりの部分も私ども十分承知をしているし最大限尊重していきたいと思う。そういった議論と今回の学校再編の議論を平行して今後も継続してお話をしていきたいと思う。</p>

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
豊倉小	<p>この部分と、子どもたち、教育長が言われたように、はきはき元気に話をするとか物おじしないとか、自然とかかわる環境の中で6年間過ごすという部分がすごく心身に影響しているというのがあるので、これがこの地域に住んでいる子どもたちだけだと、いまこの人数だけだが、もう少したくさん人間関係に悩んでしまうような子どもたちが、こういった学校にいった時にのびのび発言できたり、いつも仲良くしている友達と一緒にいられたりという点で、この学校が何か、そういう環境の子どもたちにとって良い対応になるのであれば、ある程度人数が確保できて、地域の皆さん達との触れ合いも出来て、そんなことが可能になればとても素晴らしいことだと思う。</p> <p>PTA会長としては、皆さんの意見を踏まえて、みんなが良くなるためにはそんな方法があればと考えていて、できればそういう活動も今後して、今回の学校再編、学校の数を減らさなければならぬと、子どもの数が少なくなって減っているの、そこところは重々理解しているし、この地区は子どもたちが少ないわけで、私も1学級は良いとは思っていません。やはり1学年1クラス確保は良いと思っていますから。ただそういった間に入ってみんなの橋渡しをしている役としては何とか皆さんが納得できるような形でこの先進んでいって、この学校も残れば良いし、子どもたちもある程度集まってみんながノビノビ勉強できれば良いし、地域の皆さんと学校が緊密な関係を持ちながら続けていくことができればと。</p> <p>3年後にこの学校は100周年を迎えますので、まずはそこが一つの目処で、そこまでは何とか存続させて、地域の皆さんと100周年を祝いたいと思っている。無くなるということであれば、寂しいことだし、今みたいな現状でいえば、お母さん方みんなこうやって心配する。本当に15家庭しかないから、両親だって30人しかいないので、実際にはほとんどお母さんしか来てくれない、僕を含め16人の中で運動会を運営したり、本当にもう大変です。15人の子ども、30人の親ですが、実際に運動会をやればたくさんの方が来てくれて、先ほど町会の方からもあったように、餅つき大会とか地域の人々がお手伝いしてくれる、お金も協賛してくれるので、それでお米を買ったりしているので、そういう意味で僕の希望としては、これは理解して、今このようになるのはしょうがないが、ただ豊倉小学校というのはとても地域とも密接に関係している、子どもにとっても全員とは言わないが、この学校を必要としているという子どもも小樽市内には他にいないのではないかなというようなことも含めて、こういう立場ですから少し教育委員会とも連絡を取りながら、なんとかこの学校が存続できればと、最終決定が決まるまではずっと思っていたいと思っている。心に留めておいていただきたいと思う。</p>	

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
豊倉小	<p>6</p> <p>先ほど教育委員会の方が、実際にこの再編、統廃合にかかわっている方なんかは当然だが、直接的には子どもだと思っている。その子どもが、親はうちの学校からどこかの学校に統合される、それは心配でしょうけれども、子どもたちは統廃合についてどう考えているのか。何か統廃合は地域と保護者と教育委員会で決めるのか、そういうことにはならないと思う。子どもたちがきちんとどのような考え方をしているのかということを知りたい。保護者とのディスカッションは大切だが、学校は学校単位、学級規模だとか小規模学級は別として、学校としてきちっと時間をとって子どもたちに聞くことは大事だと思う。そういう観点から、この再編計画に子どもの声が出てきて、保護者の声は今このようにやっているので、この点はぜひお願いしたい。</p> <p>7</p> <p>教育委員会が小学生や中学生に聞きなさいということではなく、学校が聞いてみたらどうですかということ。</p> <p>8</p> <p>必ずしもこうした方が望ましいということではなくて、子どもが最後判断できないという前提を持たないで、判断を持たないという考え方、判断を持たないという考えでそういうことを聞いてみる。そうすると色々子どもから出てくると思う。そういうことを子どもたちはどう考えているかということを知りたいと言っている。</p>	<p>今子どもさんに学校再編に対して話を聞く機会を設けたら良いのでは、というご提案だと思うが、それから統合後にどういうケアが必要なのか、そういうことも極めて大事な問題だと思う。ただ前段の部分の話、子どもさんの意見を聞くという部分からすると、私たちみたいな人間がきて「君たちどう思う。」という話にはならないと思う。これがまず基本だと思う。だから、そのところはまずお母さん方からどういう様子なのか見ていただく。そういう話が出てきたときに、「こういう話があるのだけれど」と話をしていただくというのが、一義的だろうと思う。</p> <p>あともう一つは、どこの段階と言えないが、現状では20人のお子さんがあるわけで、そうするとみんなとクラス単位という形だけではなくて、みんなと学校統合という言葉が適当か分らないが、堺小学校の時の経験もあるが、当然、事前に統合する学校とお子さんとの色々な交流だとか、前にやったことがあるのは、両方の学校が遠足の場所を同じにするなど色々な取組をした経過はある。もちろん先生方のやりとりもあるが、そのところは色々なことを考えなければならない。今私の頭の中にあるのは、こういう形で教育委員会の人間がお子さんたちに直接何かを聞くというのは、想定しづらいと思う。</p> <p>私は堺小学校で教頭をしていた。その時の様子をお話させていただこうと思う。まず基本的に親が納得して、理解して、そして、子どもにお話する。親が納得していないと子どもも不安になるのでそれが前提だと思う。その中で、子どもの中には小さな子もいるし、判断するという部分では、非常に寂しい感情が強いと思う。なかなか判断できなくてその先という部分では親とか大人が責任を持たなければならないと思う。色々な面で今お話のあった先生方も事前にケアするという部分では、統合される学校の方と色々な事前の事業をしたり、色々和交流を深めている。その中で、少しでも不安を和らげて進めてきたという経緯があるので、その中で子ども大丈夫だ、いけるんだ、という気持ちに少しずつ段階的に進めてきたということがあるので、前提として保護者の方々が、理解して進めるということが大事だと思っている。</p> <p>今のお話は参考とさせていただきます。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
朝里小・中 7月12日	<p>現状認識として、誤解を受けると良くないので、訂正を願いたいと思う。3ページ、朝里小学校の最寄りのバス停とあるが、豊倉方面から来ると「新光1丁目」が一番近いバス停で、昨年出来ました。桜町方面から来ると「朝里町」というバス停が一番近いバス停です。訂正いただきたいと思う。</p> <p>地勢的な説明をしていたが、これに歴史を加えていただければと思う。旧朝里村は四つの大字があり、熊碓村が現在の桜、望洋台、豊倉を含んでいる。そのような歴史的な形から見れば自然に納まるのではないかという思いもある。若竹は、平磯岬を越えて行く別世界であったという背景もあるので、その辺をかみ砕くと違った流れの説明が出来るのではないか。</p> <p>1 今、望洋台、桜、豊倉の統合の話が出ているが、朝里にある国の官舎の構成なども大きくからんでくる。市の関与、道の関与、道営住宅、市営住宅の構成によっては、大きく人口比が変わってくるだろうと思う。豊倉に至っては、一つのマンションが建ったことにより存続した、逆に言えば、年限が過ぎてそろそろ人が引き始めているが、10年先を考えると自然消滅してしまう可能性も考えなければならぬ。</p> <p>現段階で、豊倉小の親御さんたちが早めの統合を望まれているのであれば、いわゆる教員の数を減らす、あるいは新しい建物を建てなくてすむのであれば、後期などと言わずに、早めに対応するのも一つの方法だろうと思う。</p>	<p>資料について最寄りのバス停ということでお話があった。他のブロックでもバス停すべてを網羅しているということではなく、なるべく本数も多いものを抽出しながら皆さんが分かりやすい資料づくりをされており、欠落があったということでは改めて資料づくりには注意をして参りたい。また、会場でご発言をいただいているが、ご自身の立場からも、皆さんにそういう訴えをしたという形で、この会場の中でも、意見交換の場というフランクな場ということで考えているので、他の参加された方からも意見交流をしていただきたいと思う。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
朝里小・中	<p>2 先日、豊倉小学校のお母さんに会ってお話を聞いたが、団体の中でうまくいかない子どもたちが集まって来る学校が札幌にあると、豊倉もそういった位置付けにできないのかと言っていた。そういった考え方もあると思うが、その可能性はまったくないのか。</p>	<p>小樽市議会でもそのような議論はされている。私ども知っているのが、札幌で5校程ある、例えば、盤溪小学校、それと江別の野幌小学校この両方とも自然豊かなところであって、そういう自然のあるところで子どもを過ごさせたいという子どもさんを受けるといことで、一定の条件はつけながら、確か1学年8から10人までといことで、小規模特認校という言い方をしているが、一般的な特認ではなく、自然環境の中で育てたいという形で、よその校区からも受け付けるという取り組みをしているところ。</p> <p>これについては私も議会の中で言ったが、例えば、不登校の問題とか、そういうお子さんを集める学校ということでは、それは教育委員会としても良しとはならない。変な言い方だが、その学校に小樽市中から学校に行けないという子どもたちばかり集める学校には基本的にはならない。ご存知のように教育庁舎の中には、「ふれあい教室」という、どうしてもなかなか学校に行けないお子さんに来ていただいている教室があるが、一般の公立の小学校をそのような位置付けにすることはなかなかできないと思う。ただ、小規模特認校という部分は小樽でもどうい小学校を作るかという議論になるだろうと私も思っている。そのようなことをやっている学校もあるので。ただ今回の学校再編というのは、やはり一定規模の学校を作っていこうということなので、この再編とストレートにはならない部分はあると思う。</p> <p>小規模特認校については相当議論をしなければならないというのは、例えば、ここは小規模特認校だから小樽市内どこから来ても良いとした時に、2、3人は来ることはあり得ると思うが、もともとの校区の人はいるわけで、例えば豊倉校区の人がそこをそのような学校づくりにしていくということで括れるというか、新一年生が小規模特認校に来た場合、その子の6年間責任を持たなければならない。途中で特認校をやめましたとはならない。だが、一方では、ご紹介したように1学年3人、4人という中ではなかなか難しいというのも、あるのが現状。だから、今言われたように、豊倉小学校は後期に位置付けてはいるが、そのような話がきているので、現実には、後期の何年後ということではなく、今の懇談会が7月いっぱい一当たり終わるので、次の段階の一つの議論として、豊倉とはやっていかなければならないと思っている。ただ、小規模特認校については、相当慎重に色々な角度から見ていかなければならないと思う。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
朝里小・中	<p>3</p> <p>以前教員をやっていた。町会の中でこのような会合があるという、この場合もう決まったようなものと言われる。地域の方はそのように考えている。</p> <p>一つ目は、学校の統廃合の問題について、一般の人達は市の財政上から統廃合をしているという感じを強く持っている。そうではないと、目的はこうだという説明をしていただいた方が良くと思う。教育的な面からこうですということ、色々な隘路はあるのだろうか。</p> <p>二つ目は、色々な説明会を開いて、地域の方や関係者の意見を聞いて統廃合をする最終年度はいつなのか。目処を持っているのか。</p> <p>もう一つは、14ページの小学校で学級人数が30人前後です。理想の人数に近づいてくるとの感があるが、新聞に出ていた(少人数学級)のに近づいていくのか、その辺の状況が分かっていたらお教え願いたい。</p>	<p>学校再編の目的について、市民の中には小樽市の財政状況それが行財政改革の一環かという捉え方をしており、それに対する説明不足ではないかというご意見だと思う。昨年作った基本計画の中で、学校再編の必要性について計画そのものは作っていく過程の中で、市民の皆さんにはホームページを通じたり、情報は出しているつもりだ。今後とも学校再編の必要性、先程おっしゃった子どもたちにより良い教育環境を作っていくということがもちろんあるので、その部分はこれからもあらゆる機会を通じて市民の皆さんにお知らせしていく必要性はある。今回のこの懇談会でいただいた意見もブロック単位でできるだけ速やかに公表をしていくことを考えているので、その中で、市民の皆さんのご理解をいただけるようにやっていきたいと思っている。</p> <p>それともう一つ、統合の目処というお話をいただいた。先程来、こちらは後期の計画ということで、お話をさせていただいているが、前期の22年から29年までの8年間ということになるが、今各会場を回っていて、先程豊倉小の保護者の方のお話もさせていただいている。それから塩谷の方でも、例えば統合という方向性が出るのであればあまり期間を置かないで早めにやったほうが良いのではないかと、というご意見もいただいているので、そのブロック、ブロックで若干進め方は異なるかもしれないが、そこの話の中で、一定の方向性が出るということになれば、今日お配りしているリーフレットの左側の方に2年程度かけてということを書かせていただいているが、児童の交流とか保護者の交流ということもあるので、そういう期間をとりながら、できるだけ、そういう方向が出たところについては取り組んでいきたいと思っている。</p> <p>あと、30人程度ということで、今回このプランの中に1学級当たりでいくと、だいたい30人弱というところに来ているかと思うが、国でも今、中央教育審議会です人数化の提言ということで、このことだと思うが、まだ詳細は見えてないが、30人ないし35人、そういうところでの調整ということが出ているので、そこはこれからもそういう動きを見ていきながら、対応していきたいと考えている。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
朝里小・中		<p>昨年、一昨年このような説明会を開催してきた。その時にも、小樽市の財政事情は一切関係ないとそういう言い方はしていない。今回この学校再編を進めるに当たって、ポイントを三つ掲げている。一つは小樽の少子化だ。7割の学校が1学年1クラスになっている。今年の小学1年生は、平成15年に生まれた子どもで、平成15年ではまだ小樽市では、930人の子どもが1年間で生まれていた。しかし去年1年間では、730人程しか生まれていない。その今年の1年生が生まれた年と去年の6年間の違いだけでも200人も減ってきている。そういった中で、やはり少子化に対応していく形での学校再編をしていかなければならない。このことについてはおおむねご理解をいただけたと思っている。</p> <p>それからもう一つのお金の関係でいうと、今赤字があるとかということではなく、今学校を41校持っているが、これだけ子どもが減っている中で、市としてこの先ずっと41校を、古くなれば建て替えもしていかなければならないわけだが、そういったことをしていくべきなのか、そのことではやはり、学校再編をしていかなければならない、その意味でお金のことと関連があるといえば、あると思う。この学校もそうだが、お金がないから耐震化できないということではなく、一昨年からはじめていて、必要なことはしていかなければならない。お金がかかるのは事実だが、41校をこの先ずっと持つていくということはないだろうということについても基本的にご理解をいただいている。今担当からも言ったが、41校の説明会もあと4校で終わる、私どももそれぞれの懇談会で、話していく中でも、やはり再編はしなければいけない、する場合に、統合校を決めていくわけだから、統合校としてどこが一番条件が良いのか、議論をしていこうというそういう流れでされている。</p> <p>実はこれは一例だが、手宮地区で北手宮、手宮西、手宮3校があって、ここは1校にしよう。その時に、手宮小学校を建て直して小学校にする案も出している。それから、手宮西小学校は新しいのでその間使えるという案も出している。ただ、高島・手宮地区で中学校は2校あるが、それを1校にするという考え方。普通であれば、北山中学校を使うか、末広中学校を使うかというのが普通の考えだが、私たちがプランとして出しているのは、手宮西か手宮の小学校として空いた方を中学校として使おうというプランも出している。それはやはり通学路の関係で、北山中学校もすごいところにあるし、末広中学校もどちらから登ってもすごいところにあるから、バスを使っても通学条件の良いところを通していこうという議論もしている。一般的に金がないから統合ということではなくて、この先長いスパンで見えていった時、学校として適地なのか、という議論をやっていく、そしてその中で必要であれば、建て替えをしていこう、そういう流れでご理解をいただきたいと思う。</p> <p>それから30人学級の関係だが、教職員定数の改善計画が7次までできていて、8次のところで中教審から考え方は出されたものの、国の財政の関係で中断になっていて、それがまた復活して35人なのかどこになるのか、全学年一斉になるのか一定程度学年ごとに順番にやっていくのか、まだはっきりはしていないが、今の文部科学省の考え方では、新年度に23年度に向けて、一定の方向性を出すと言っているので、私どもも大変期待をしている。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
朝里小・中	<p>4 町会の会議をやっていると、高齢者ばかりで、学校再編にあまり関心がない。良く分からない。話をするとああそうかと、そういえば新聞に出ていたなという程度。その人達には子どもさんがいないので、現実が分からないから、財政が逼迫していることからの発想ではないというPRをした方が良いのではということ。その方が理解してもらえるのではないか。</p>	<p>色々なところから質問いただき、毎日このように懇談会をしているので、それぞれの地域でどのような議論になっているか把握しているが、皆さんにとって情報量は多くない。だから、一つはホームページという形でこのような懇談会で出された意見を公表していきたい。また、年に何回くらいになるか決めていないが、6ブロックに分けてやっているから、それぞれのブロックでどのような進展をしているか、ブロックで協議会が立ち上がって色々な議論をしています、とか、例えば、手宮地区の小学校はここが、統合校になりました。それで、地域で色々な議論をしています。など情報は、学校もちろんだが、町会にもなるべく出していく。保育所や幼稚園はもちろんだが、学校再編は小樽市全部の地域でやっているんだということを是非知っていただくということも必要だろうと思っているので、今後、そういう形で回覧の依頼などをさせていただくこともあると思うのでよろしくお願ひしたい。</p>
	<p>5 (要望) お願ひをしたい。朝里小学校、朝里中学校から見て、豊倉小学校が小学校では入ってくる、中学校では出ていくといっても、正直大きな変化はない。豊倉小学校の子どもたちを最優先に話をぜひ進めていただきたい。(豊倉の)保護者の意見優先でお願ひしたい。 今、生まれた子が誰一人として小樽から出ない想定をされているが、逆に周辺から小樽の学校は良いと言われるような、魅力的な学校づくりを、今もされていると思うが、さらに、他から小樽の学校に入りたいという学校づくりをどんどん進めていただきたい。以上要望2点です。</p>	<p>要望という形で言われたが、一つやはり、小樽の学校を魅力のあるものにしていこうという部分というのは、この再編ということとは関係なくとも、やはり、一生懸命子ども教育委員会としてはやっていかなければならない。</p>
	<p>6 以前、統合した中学校に勤務していた者。その時は、数字だけで話が進められたような気がする。それぞれの学校や地域には歴史があって、例えば、学校がいつ、どのような状況で出来たとか、校長は子どもたちに話をすることで、自分の地域を大切に思うし、学校も大切にしなければならない。そのためには、人間関係も大切にしなければならないという教育をしているはずだ。ところが、人数がどうこうとか市の財政がどうだとか、そんな話を子どもたちにしても、中々理解できない。人数だとかで(再編を)やられたら、子どもたちは可哀そうだ。自分の町は、こういう良いところがある、この学校にはこのような特長があるということ認識して、そこで学習することによってその地域や学校に愛着を持つと思う。親にもそのような歴史を感じながら生活する人もいると思う。朝里に関する本は色々出ている。それを読むと朝里の歴史が良く分かる。私も明治9年に朝里に学校ができた時の発祥の地の数メートル近くに住んでいる。そういうことを含めて、地域の人々にどうして今こうしなければならないかということ、歴史のことを含めて話し合いをしていかなければ、そっぽ向かれては大変だ。町会の老人たちだけではなく、子ども、孫、この地域は古くから繋がっている家庭が多いので、もっと子どもだけではなく、親をも含めて学習を進められるような教育委員会であってほしいと思う。本当に、大切に、大切にしてきた地域や学校をどうしてこうしなければならないかということ、できるだけ時間をかけて説明して、意見を聞いて進めてほしいと思う。</p>	<p>今、お話しいただいたこと、まったくそのとおりだと思う。子どもが取り組んでいるのは、それぞれの学校の伝統や歴史を決して軽視しているということではなく、大事にしながら新しい学校を作り上げていこうというそういう観点なので、大きな学校に統合されるとか、そういう思いは決して持っていない。家族、おじいちゃんおばあちゃん、子どもに対しても、その学校の歴史は十分教えながら、よりよい環境に向けて、そういう思いで進めている。末永先生にお聞きしたら、朝里は明治2年か3年に私塾としての一番の発祥の地だということ聞いた。そういう面で私はこの地区の朝里なり豊倉、さらに広げて銭函、そういう歴史を十分踏まえながら、これから子どもたちにどうして学校が合わさって行って、授業を受けなければならないかということは、教育委員会としても、保護者にも説明してこれから参りたいと思う。そういった意味で今日の懇談会も考えは十分分かったので、この次に来るときはそのような話もさせていただきたいと思っている。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
<p>桜町中 5月28日</p>	<p>1 中学校と小学校を併せて考えたいが、プラン的には、中学校は1が良いかと思うが、使う学校を桜町中学校と望洋台中学校を望洋台小学校へやったらどうかと思う。学校的には望洋台小学校を望洋台中学校に使うと。小学校は中学校を使うということで、桜町中学校はグラウンドのことも含めて狭い、部活動のことを考えると、設備の良い望洋台小学校、望洋台中学校を使うようなことを考えた方が良くはないかと思う。</p> <p>2 耐震工事は、一つ一つの教室を工事していくのか。1階、2階全部。</p> <p>3 使っていない教室、美術室とかそういうところに、子どもたち移動して、工事に当たって、資材とか、そういうのは子どもに害はないのか。</p> <p>4 使う、資材、体に害があるかどうか。人それぞれ、子どもの体質も違うから、それは前もってこういう物を使うということを、私たちは来て説明受けているので良いが、来ていない家庭には、一応そのようなことの説明が必要なんではないかと思う。</p> <p>5 それでなければ、勉強に差し支えがあると困るので。うち、来年は3年生なので、高校受験とかあるから、そういうものも考えていただかないと。1年生だから良いという問題ではないが、教育面にも、考えていただければと思う。校長もここに居るので、3年生の勉強に差し支えない程度にお願いしたいと思う。</p>	<p>後期、長期的な中でみていく課題ですから、今いただいたご意見も、ひとつのご提言として受けさせていただきたいと思っている。</p> <p>ちょっと申し上げたいと思うのは、実は、今回のプラン、今いったような形のことも具体的なプランとしてお示しているところもある。今週懇談会で行ってきた手宮地区。あそこは、大きくいうと、手宮3校と祝津・高島という小学校のグループで、それから中学校は、北山と末広というのを1校にしたいとしている。私どもが示した一つのプランとしては、北山中学校というはある意味大変なところにあって、末広中学校も位置的に手宮の真ん中らへんにあるが、手宮側から上がっても、北山の方から上がっても、相当急こう配もある、懇談会でも、夜、中々子どもが一人で帰るにはゆるくないというご意見もあった。私どもの出した一つのプランとしては、手宮小学校と手宮西小学校このどちらかを小学校、どちらかを中学校としてはどうかということでのプランを出して、色々ご意見をいただいた。そうではないというご意見もいただいたし、そういう考え方もあるというご意見もいただいた。その意味では、今回のプランというのは、小学校の統廃合により空くところが出てくる、中学校の統廃合によって空くところも出てくる、それを地域全体としてどのような学校配置にしていくのかということ考えている、作っている、今いただいたご意見も今後の再編議論を進めていく中での一つのご提言として受けさせていただきたいと思っている。</p> <p>そこら辺を今設計してして、いくつ筋交い(プレス)をつけなければならないかというのをやっているところ。一つずつというのではなく、だいたい校舎を半分に分けて、半分ずつ一気にやっていく形になると思う。ですから半分のところを移動していただいてという形になると思う。</p> <p>もちろん工事車両も入って来るので、子どもさんの通学路と重なる部分も出てくる。そこら辺も学校と十分注意して、なるべく支障がないようにしていきたいと思うが、どうしてもおっしゃるとおり資材などは搬入するので、時間をずらすなど、登校時間にももちろん持ってきたりはできないので、実際の工事業者が決まったら詳しく学校と打ち合わせしてやっていきたいと思っている。</p> <p>札幌の保育所で問題になった。塗装も、色々の建材なんかもそうで、そういうところは念には念を入れて、事前にももちろんきちんと調べるけれども、さらに説明するとともに、子どもさんの移動、どのように動かしていくか、言われたとおり空き教室を使うということもある、空き教室だけで足りない部分あればプレハブでやっていかなければならないが、そこら辺も慎重にやっていきたいと思う。</p> <p>全然支障が出ないということにはどうしてもいかないと思う。何年生をどういうふうに動かすとか、そういうことは校長先生を始め学校の方と相談してやっていきたい。</p> <p>今、お母さんおっしゃるとおり、子ども安全のためにやるのに、勉強ができませんでしたというのは話にならないので。</p>

朝里ブロック

会場	会場での発言（質問・意見・要望）	教育委員会の発言（回答・説明）
桜町中	<p>6 3年生だから特に5教科は力を入れてもらいたいというのが親心なんで、ちょっと来年にかかるというのが、今引っ掛かったところ。</p>	<p>おっしゃるとおりだと思います。今年、実施設計やるので、年内にどういう工法で、どのくらいの工期がかかる工事なのかというのは、はっきりしてくると思う。また、学校には、私どもの方もご説明と相談をさせていただくので、言われたとおり、例えば音楽室を普通教室に使って、音楽の授業はプレハブでやってもらおうとか、そういうこともあり得ると思う。通常やる、普通の授業にはなるべく影響のないように、どのクラスもやるけれども、週に1回とか2回だとかやる授業は、プレハブだとか、いろんなことを工夫しながら、極力授業には影響の出ない形でやっていきたいと思う。</p> <p>それと、シックの関係ですが、これは私どもも相当気は遣っている。夏休みの間に検査もしているし、ちょっと改修したとか、そういう教室は必ず検査をしている。もちろん建材とか、そういったものも含まれていないものを使うというのが前提ですが、100%何も入っていないというものは、実は中々難しいです。現実的には、それぞれのお子さんによっては、程度の差があるから、工事が終わった後に、シックの検査をやって、レベルが超えていないことを確認してやっている。実は昨年小中学校全部ですが、パソコンを入れ替えました。実はああいうものからも出るということがある。全部の学校ではないが、どの学校も同じ台数入れているので、いくつかの学校をピックアップして、そのパソコンを入れた教室もシックの関係を調べようと思っている。その部分は、私どもも十分気を遣いながら進めてまいります。</p> <p>今日、菁園中学校で検査をした。学校薬剤師に正確に判定してもらおうと思っているが、おそらく大丈夫だと思う。</p>